



小田原 おだはら

満 みつる



概要

氏名 小田原 満
推薦団体 熊本県文化協会
主な活動地 天草市

本賞

小田原満氏は、長年にわたり主に天草地域の芸術文化の振興に尽力されています。

氏は、教職を退職後、天草地域の文化協会長等文化関係団体の役職を歴任し、二市八町合併の際には各団体の調整に尽力され、天草市芸術文化協会の設立、後に団体の一般社団法人化に貢献されました。

また、天草地域への文化の祭典の誘致や定期的な文化祭の実施などにより地域の文化力の底上げに尽力されています。

氏は、現天草市内の小中学校七校の校歌の作曲、天草ハイヤの編曲、平成十四年には天草子守唄の会を設立し福連木の子守唄の編曲や普及活動をされるなど、人々に親しまれる音楽を通して地域の振興にも尽力されています。

このように、氏は、文化の普及啓発を通じて、本県の文化振興に大きく貢献されています。

これまでの主な活動歴

昭和五十一年

瀬戸小学校（旧本渡市）校歌を作曲。以降平成十七年の御所浦小学校（旧御所浦町）校歌の作曲まで天草市内の七小中学校校歌を作曲。

平成十四年

天草子守唄の会を設立。福連木の子守唄を編曲。

平成十八年

天草市芸術文化協会設立。会長となる。

平成二十三年

荒木精之記念文化功労者賞受賞

平成二十五年

第一回あまぐさ子ども芸術祭地元実行委員長を務める。

平成二十六年

一般社団法人天草市芸術文化協会設立